

がんばっぺ東北_文化による復興

文化財レスキューの先に見えるもの

被災地の復興と文化をテーマに、小さなトークセッションを行います。昨年の震災以降、文化財レスキュー活動が、被災した文化財の救出・修復に大きな役割を果たしてきました。一方、文化が地域社会の形成で担う役割の大きさを思うとき、今後、被災地の更なる復興に向けて文化をどう意識し、活かすのか、これまで以上に活発な議論と実践が求められるところです。文化の力を復興への道筋に活かして、被災地に、より大きな活力やつながりを生み出すにはどうすれば良いか。復興に向けた文化の貢献可能性を、みなさんと一緒に語り合い、考えてみたいと思います。

■日時：10月7日(日) 15:00～17:30

(その後18:00から、別会場で懇親会を開催)

■参加：無料

■場所：代官山ヒルサイドテラス

15:00～「ヒルサイドフォーラム」(F棟)

18:00～「ヒルサイドバンケット」(C棟)

■主催：一般社団法人DSIA

■スピーカー

岡田仁孝 上智大学国際教養学部長

【主な報告内容：釜石キッチンカー活動、コミュニティ活動の場の創造、等】

齊藤恵理 文化環境研究所取締役

【主な報告内容：文化財レスキュー巡回展活動、震災伝承の必要性、等】

馬渡一浩 文京学院大学経営学部教授

【主な報告内容：手のひらに太陽の家、文化の貢献可能性、等】

鈴木隆敏 (兼司会) 慶應義塾大学大学院文学研究科アートマネジメント分野講師

【主な報告内容：文化財レスキュー事業の1年半の活動と成果、シンポジウム「3・11以降の芸術 3・11以降の学問」から、等】

株式会社文化環境研究所

地域の文化資源の活用を通し、市民が主体となった「活動の場づくり」やにぎわいを生む「まちづくり」の実現をサポートするシンクタンクです。長年にわたるミュージアムづくりの実績から紡いだノウハウを活用し、リアルな場を核とした地域のにぎわいづくりを実現します。(ホームページより抜粋)

一般社団法人DSIA

優れた社会起業家の創出、ソーシャルイノベーションによる日本の地域活力の向上、企業における社会的価値の尊重と評価軸の定着の3つを貢献目標に定め、調査研究事業や教育・コミュニケーション事業を行っています。